

GLORY

○2015年12月22日(火) 第13号

○発行：生徒会『GLORY』編集委員

高校生フェスティバル学内実行委員

文化部の活躍をその目に!!

12月下旬は、本校文化部の発表会が毎年恒例の行事として行われています。まずは演劇部が「クリスマス公演」と称して「子供たちのための芸術劇場第21弾」となる「若草物語」のミュージカルを行っています。これは演劇部のオリジナルミュージカルで、台本・音楽・振り付け全てを自分たちでつくっているものです。また、今年は高蔵演劇部卒業生による生公演「Annie」も行われました。ミュージカルそのものを楽しむことはもちろんのこと、それに加えて、「こんなに根強いファンがいるのか」「こんなに地域に愛されているのか」「近所の親子がこんなに感動してくれるものをつくれるのか」と演劇部の活動のすごさにふれることもできました。今週末にもう一度、無料公演がありますので、是非劇場でご覧ください。



12月27日(日)

場所：あま市美和文化会館（駐車台数200台。無料）

開場：14時00分 開演：14時30分 入場無料



12月23日(水・祝)には、吹奏楽部・カラーガード部・バトン部による第42回定期演奏会が行われます。今年は会場を栄に移して行います。是非みんなで盛り上げていきましょう。

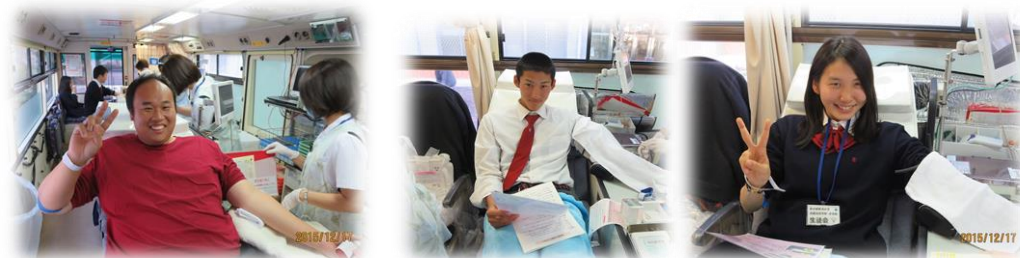
12月23日(水・祝)

場所：栄ナディアパーク11階 青少年 アートピアホール

会場：16時30分 開演：17時00分

献血バスがやってきました!!

PTAクラス懇談会の初日、図書館前に献血バスがとまっているのを見かけた人がいると思います。先日配布した『高志』でも紹介したように、高蔵校内にまで献血バスに来てもらったのです。そして、野球部・サッカー部・女子バスケット部の団体参加を中心に、生徒会役員や有志の生徒、懇談の合間をぬって駆けつけた教員などで、献血活動が行われました。中には、懇談会が終わった保護者の方も参加して下さったりと、その輪を広げることができました。今年は、献血の直前に気温が冷え込んだこともあって体調を崩してしまったりと、「やりたいのにやれなかった」という人がたくさんいました。しかし、今回の参加で「献血への抵抗感」はうすまったはず。どこかで見かけたら、積極的に参加してみてください。また、年齢を理由にできなかった人は、来年、お待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。50名以上の献血希望者が集まり、合計11.8リットルの献血ができました。ご協力、ありがとうございました。



部活動の活躍

☆柔道部☆

夏の大会での「県大会初出場（個人戦）」に続き、団体でも初めての県大会出場を遂げました。1月16日（土）10時から、愛知県武道館にて県大会が行われますので、今から予定をつけて、応援に行きましょう！

2樗 堀田くんのコメント

11月21日の名南地区予選大会団体戦では、目標としていた県大会への出場を勝ち取ることができました。県大会で勝ち進む為には、今以上に練習に取り組まなければなりません。悔いが残らないよう、一致団結し全力で挑みたいです。

☆バトン部☆

バトン部のチーム「エビータ」が12月12・13日に幕張メッセで行われた「第41回バトントワーリング全国大会」に出場し銀賞を受賞しました。結果報告に校長室を訪れると、校長先生から「よく練習した成果ですね。おめでとう。」と祝辞を頂き、記念写真を撮りました。このチームは3月の全日本選手権にも出場が決定しています。



☆トランポリン☆

中学1年生の北折愛里さんが、12月初旬にデンマークで行われたトランポリンの世界大会に出場しました（「WORLD AGE GROUP COMPETITION TRAMPOLINE DMT TUMBLING 2015 ODENSE DENMARK」）。156人が出場した世界大会で、なんと19位にはいる活躍です。おめでとうございます。

☆フィギュアスケート☆

3年縦組の伊藤有里さんが、1月19日から岩手県で行われる「全国総合体育大会」のフィギュアスケート競技に出場することになりました。昨年に引き続きの全国大会出場です。おめでとうございます。当日の活躍を、みんなで応援しましょう。

☆「観光プランコンテスト」で優秀賞☆

2年桐組の井村くんが、個人的に興味をもって取り組んでいる活動で優秀賞を受賞しました。以前より「まちづくり」や「まちおこし」に興味があったため、インターンや調査研究を重ね、聞き取りや動画作成など工夫を凝らしたものを作成し、ノースアジア大学のコンテストに応募したものです。12月12日（土）の朝日新聞に掲載されました。

A newspaper article clipping from Asahi Shimbun. The main headline is "有松を満喫 高校生がプラン" (Enjoying Aomatsu, High School Students Create Plans). A sub-headline reads "愛知の井村さん コンテスト優秀賞" (Aichi's Mr. Kimura Wins Contest Excellent Award). The article features a photo of a young man in a suit holding a large sheet of paper. The text describes how a high school student from Aomatsu City won an award for his tourism plan for the Aomatsu area. It mentions his research into the area's history, including the Aomatsu Museum and local shops, and his plan to promote the area's unique street atmosphere and traditional dyeing experiences. The article also includes a section titled "古い街並み 絞り染め体験" (Old Street Atmosphere Dyeing Experience) which further details the student's observations and the local culture he is promoting.

街並みを眺めるだけでなく、有松の絞り染めを体験して街の息づかいを感じてほしい。名古屋経済大高蔵高校（名古屋市長）2年生の井村知貴さん（17）の観光プランがコンテストで優秀賞を受賞した。自ら工房などを訪ねて得た知識を凝縮したプランで、江戸時代から続く伝統の発信に寄与する内容になっている。

秋田市のノースアジア大 有松のようなどころがあで11月にあった「高校生コンテスト」と井村さん。

「私達のまちの観光魅力アップ作戦」コンテスト。東海道の街並みが残る名古屋市の有松地区にある海校会館で職人に話を聞いたインターンだった。

「東京から来るお客さんには、歴史ある店舗を訪れてから昼食をとる。午後は、有松校の実体験をする。」

「愛知は江戸時代から物づくりが盛んだからこそ、歴史好きの井村さんは、有松の案内をして」と、同社5代目の久野浩彬さん。

有松校をPRする井村知貴さん＝名古屋市長

古い街並み 絞り染め体験

地元工房など10軒以上を回って有松校の特徴を調べた。江戸時代のかげを見せられ、家々の2階部分が低くなっているのは、大名行列を見下ろさないためだと教えてくれる人もいた。そうして得た有松の知識を観光プランにまとめた。

店主たちに話を聞き直し、写真だけでは伝わりにくい動画も撮った。「有松には人の温かさや、古い街並みを残そうというつながりがある」と魅力を語る。

最優秀賞には一步届かなかったが、審査員の道端忠幸・同大教授は「ユニークなアイデアで実現可能性も高い。動画を組み込んだ点もよかった」と評価した。

「魅力ある観光資源を見つけることは、地元への誇りや愛着につながる。地域振興のために活躍してほしい」とエールを送る。

井村さんはプランの商品化を実現するため、1月には、高校生らに体験してもらう企画をする。「同世代にも興味を持ってほしい。意見を言ってくれる仲間ができれば、もっといいプランになります」

（増田勇介）

GLORYでは、読者からの情報もお待ちしております。「こんな活躍を載せて欲しい」「近くにこんな頑張っている生徒がいる」「地域にこんなおもしろい場所がある」など、気になったものはどんどんお知らせください。積極的に全校生徒へ伝えていきたいと思っています。